

# 一般国道23号

ちゅうせい どうろ  
中勢道路

(道路事業)

## 説明資料

平成26年9月8日

中部地方整備局  
三重河川国道事務所

# 目 次

1. 一般国道23号 中勢道路の事業概要	
(1)事業目的 .....	P 1
(2)計画概要 .....	P 2
2. 評価の視点	
(1)事業の必要性等に関する視点	
①交通渋滞の緩和 .....	P 3
②災害時の復旧・支援ルート確保 .....	P 5
③地域産業の支援 .....	P 6
3. 事業の進捗の見込みの視点 .....	P 7
4. 費用対効果分析 .....	P11
5. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点 .....	P12
6. 県・政令市への意見聴取結果 .....	P13
7. 対応方針(原案) .....	P13

# 1. 一般国道23号中勢道路の事業概要

## (1) 事業目的

一般国道23号中勢道路は、三重県鈴鹿市北玉垣町から三重県松阪市小津町に至る延長33.8kmのバイパスであり、一般国道23号現道の交通渋滞の緩和、災害時の復旧・支援ルート確保、地域産業の支援を目的に計画された道路です。

並行する現道23号には主要渋滞箇所(2区間・8箇所)が存在し、巨大地震による津波浸水が予測されるなど、多くの課題があり、本事業は、課題解決のため別線バイパスを整備することで、現道の渋滞緩和等による様々な効果を見込んでいます。

## 中 勢 道 路 の 全 体 位 置 図



平成26年3月24日撮影

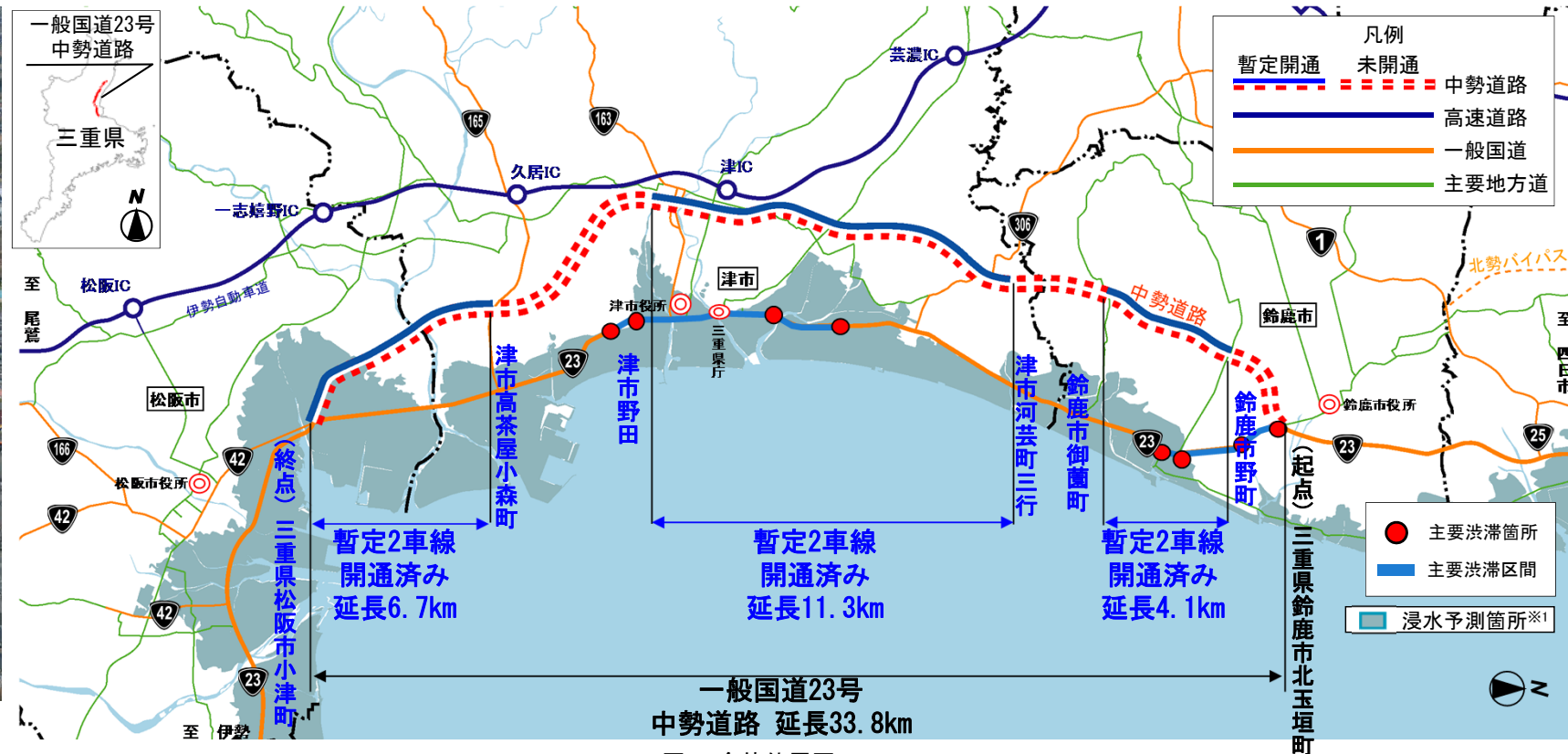


図1 全体位置図

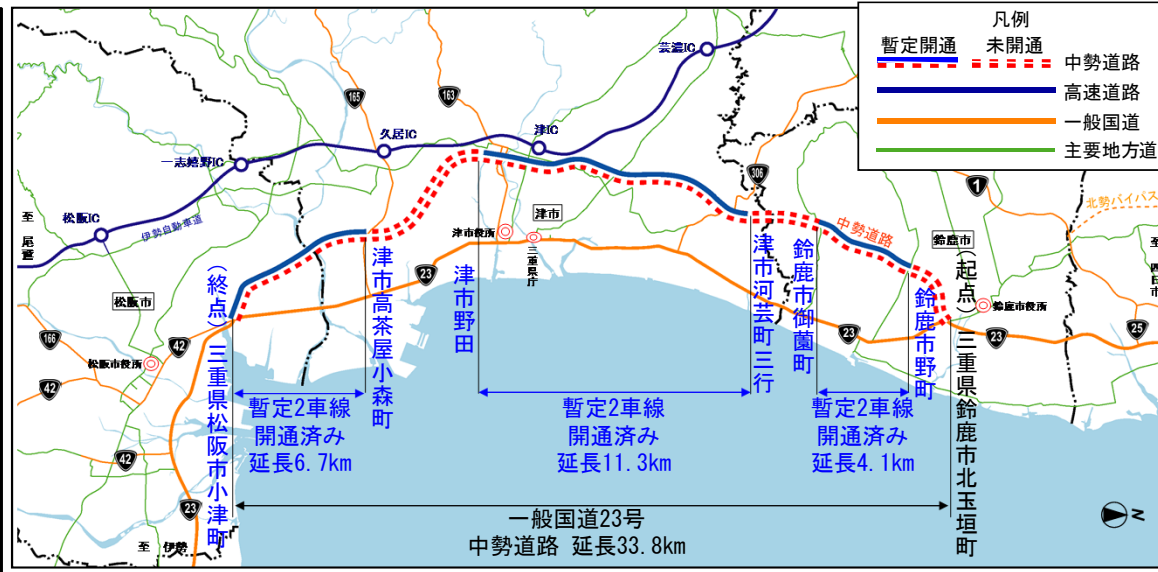
※1 出典：三重県HP「津波浸水予測図(平成25年度地震被害想定調査)※2について」  
 ※2：南海トラフの理論上最大クラスの地震を想定した場合の浸水予測結果

# 1. 一般国道23号中勢道路の事業概要

## (2) 計画概要

中勢道路は昭和59年度に事業化され、平成25年度までに全線の約65%にあたる22.1kmが暫定2車線により開通しています。

- 事業名 : 一般国道23号 中勢道路
- 起終点 : (起点) 三重県鈴鹿市北玉垣町  
(終点) 三重県松阪市小津町
- 延長 : 33.8km  
(暫定2車線開通済22.1km) 平成25年度末
- 道路規格 : 第3種第1級
- 設計速度 : 80km/h
- 車線数 : 4車線
- 都市計画決定 : 昭和58年度
- 事業化 : 昭和59年度～平成19年度(順次事業化)
- 用地着手年度 : 昭和61年度
- 工事着手年度 : 昭和63年度
- 前回の再評価 : 平成23年度  
(指摘事項なし: 継続)
- 全体事業費 : 1,900億円(増減なし)



### 標準断面図

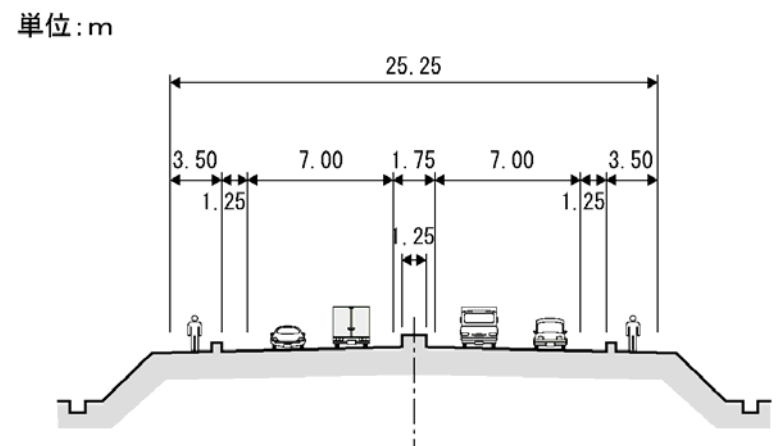


図2 一般国道23号中勢道路 標準断面図

# 2. 評価の視点：一般国道23号中勢道路

## (1) 事業の必要性等に関する視点

### ①交通渋滞の緩和

■中勢道路の整備により、南北幹線道路が強化され、一般国道23号への交通集中の分散が図られます。  
 ■これに伴い、一般国道23号現道の渋滞損失時間が約9割減少し、渋滞の緩和が見込まれます。

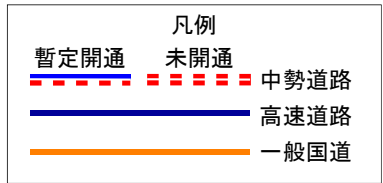
#### ○中勢地域の南北幹線道路



平成26年8月27日撮影

平成26年8月27日撮影

図3 一般国道23号の渋滞状況



#### ○一般国道23号現道の渋滞緩和効果

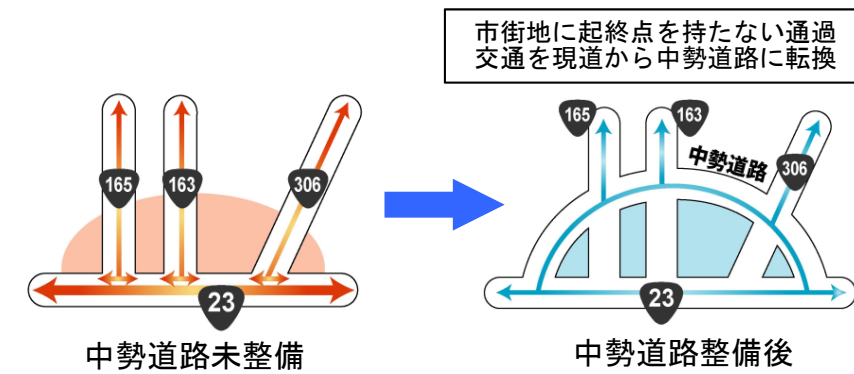


図4 渋滞緩和効果

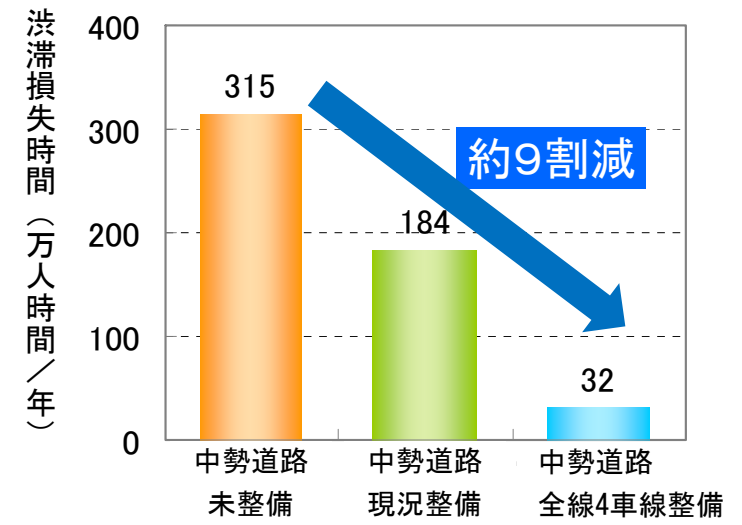


図5 中勢道路に並行する一般国道23号現道の渋滞損失時間の推移

※一般国道23号現道を対象にH42交通量推計より渋滞損失時間を算出

# 2. 評価の視点：一般国道23号中勢道路

## (1) 事業の必要性等に関する視点

### ① 交通渋滞の緩和

#### ○ 整備効果事例

- 中勢道路(高茶屋小森町<sup>たかぢやこもりちよう</sup>～松阪市<sup>まつさか</sup>嬉野新屋庄町<sup>うれしのにわのしょうちよう</sup>)の約3.9kmが平成24年2月に部分開通したことにより、並行する現道から中勢道路に交通が転換し、一般国道23号雲出本郷町<sup>くもずほんごうちよう</sup>交差点の渋滞長が6割減少しました。
- 高茶屋小森町<sup>たかぢやこもりちよう</sup>～小津町<sup>おづちよう</sup>間の所要時間が約12分短縮しています。

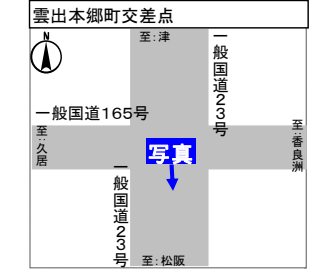


図6 開通区間の概要図



図7 渋滞状況  
写真撮影 開通前：H24.1.10朝7時台  
開通後：H24.3.7朝7時台

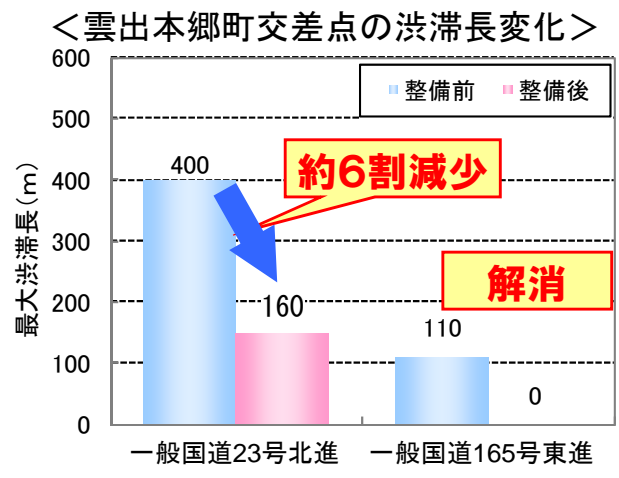


図8 渋滞長の変化

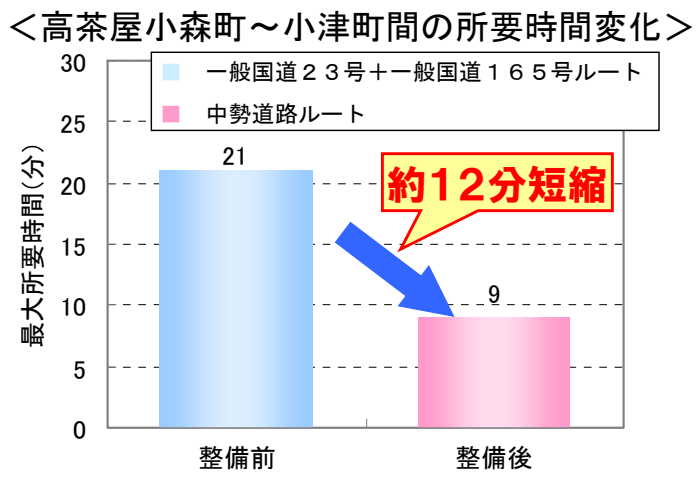


図9 所要時間の変化

# 2. 評価の視点：一般国道23号中勢道路

## (1) 事業の必要性等に関する視点

### ②災害時の復旧・支援ルート確保

■南海トラフ巨大地震の津波では、人口・産業が集中する沿岸部で浸水が予測され、一般国道23号の寸断が想定されます。  
 ■中勢道路整備により、高速道路と沿岸部を結ぶ軸が形成され、災害時の救援・救助活動や人員・物資輸送が迅速化します。

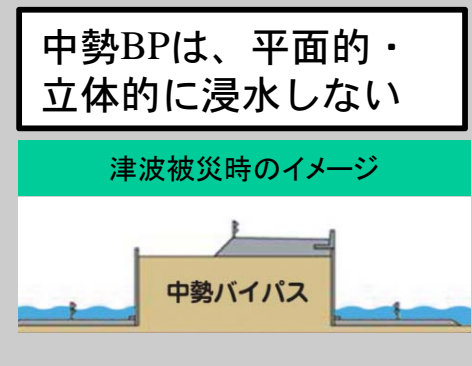
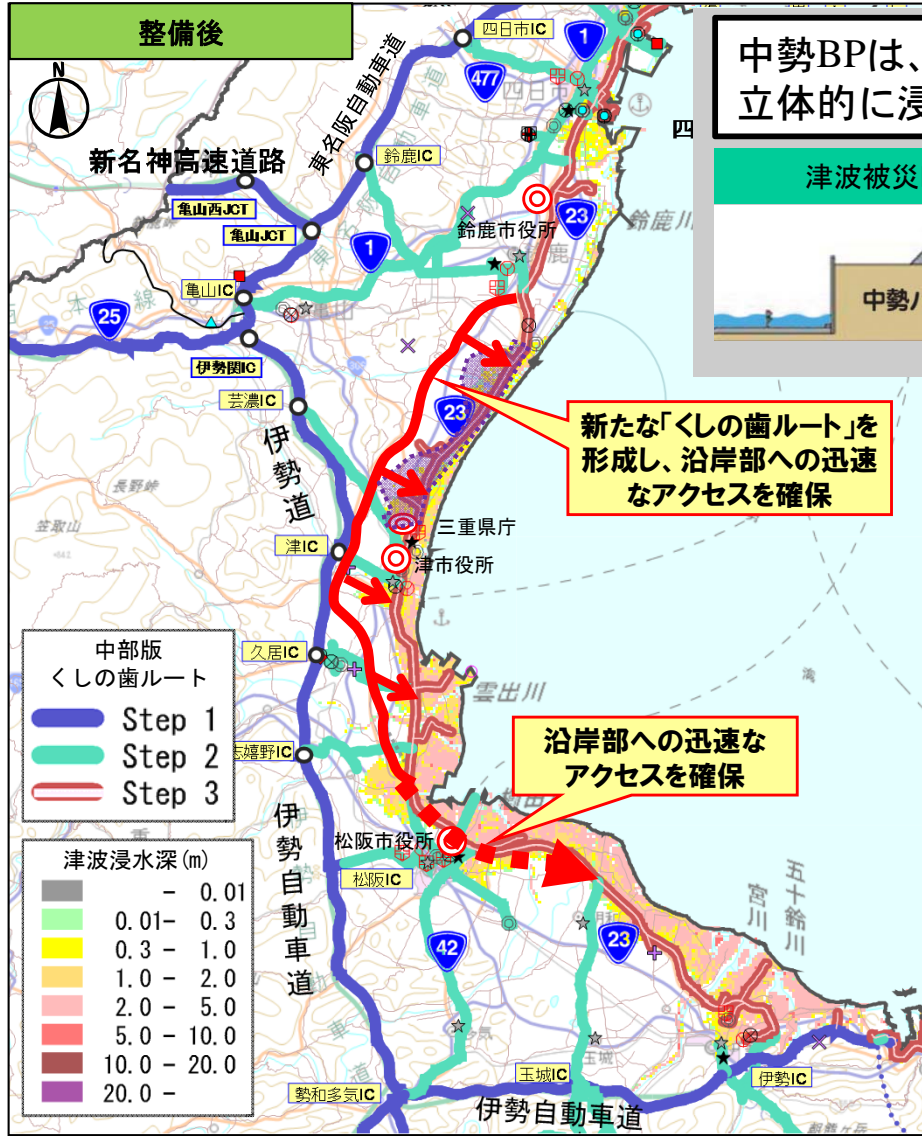
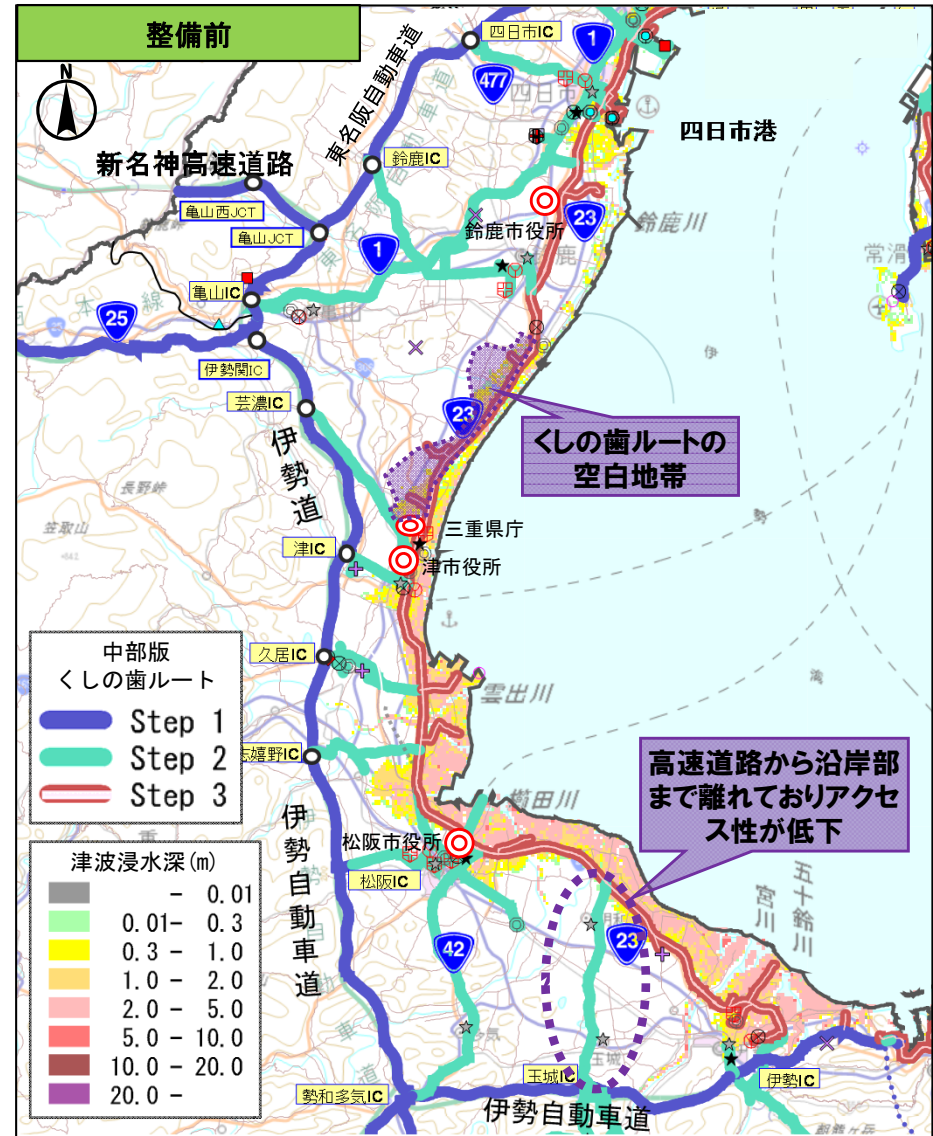


図10 中勢道路からの啓開ルート

# 2. 評価の視点：一般国道23号中勢道路

## (1) 事業の必要性等に関する視点

### ③地域産業の支援

- 三重県の事業所あたりの製造品出荷額等は全国2位で、中でも中勢地域はその約3割を占める産業集積地です。
- 中勢道路沿線には、工業団地等の開発が進展しており、今後も新たな企業立地が見込まれます。
- 中勢道路整備により、円滑な物流を確保することで、地域開発を支援し、地域経済の活性化が期待されます。

＜事業所あたりの製造品出荷額等＞

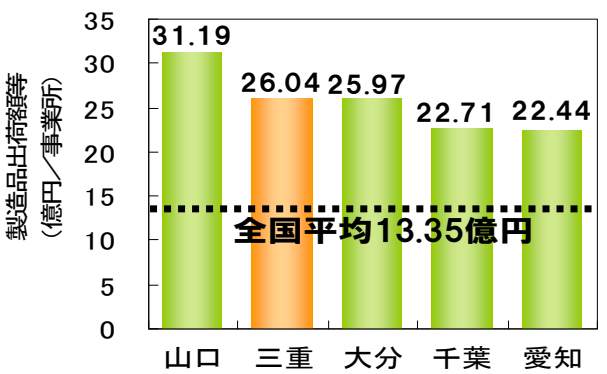


図11 事業所あたりの製造品出荷額等 (H24)

＜製造品出荷額等の割合＞

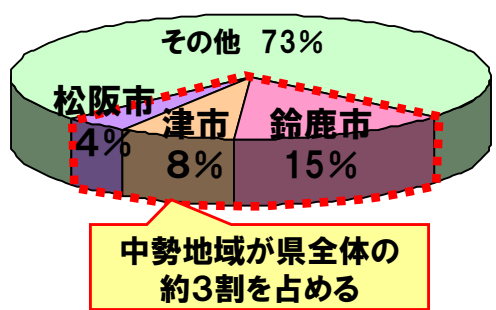
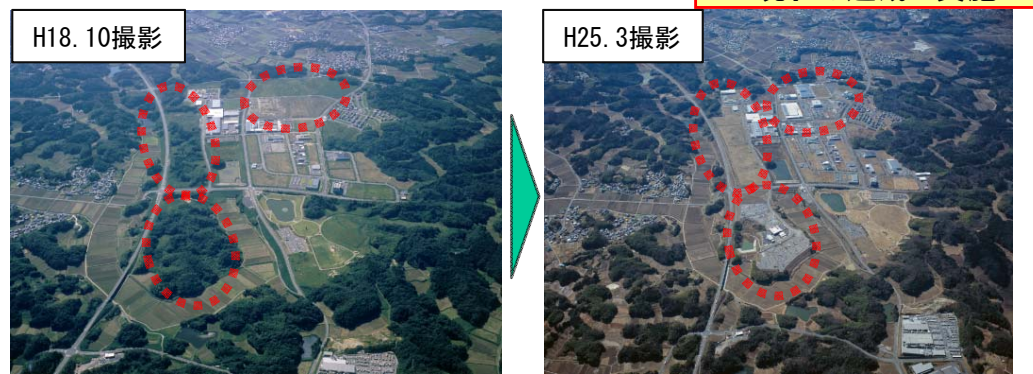


図12 県内製造品出荷額等における中勢地域の占める割合 (H24)  
出典：H24工業統計調査

＜中勢北部サイエンスシティの造成状況＞



立地企業の増加に伴い、現在も造成を実施

図13 中勢北部サイエンスシティの造成状況

＜中勢道路沿線の開発状況＞

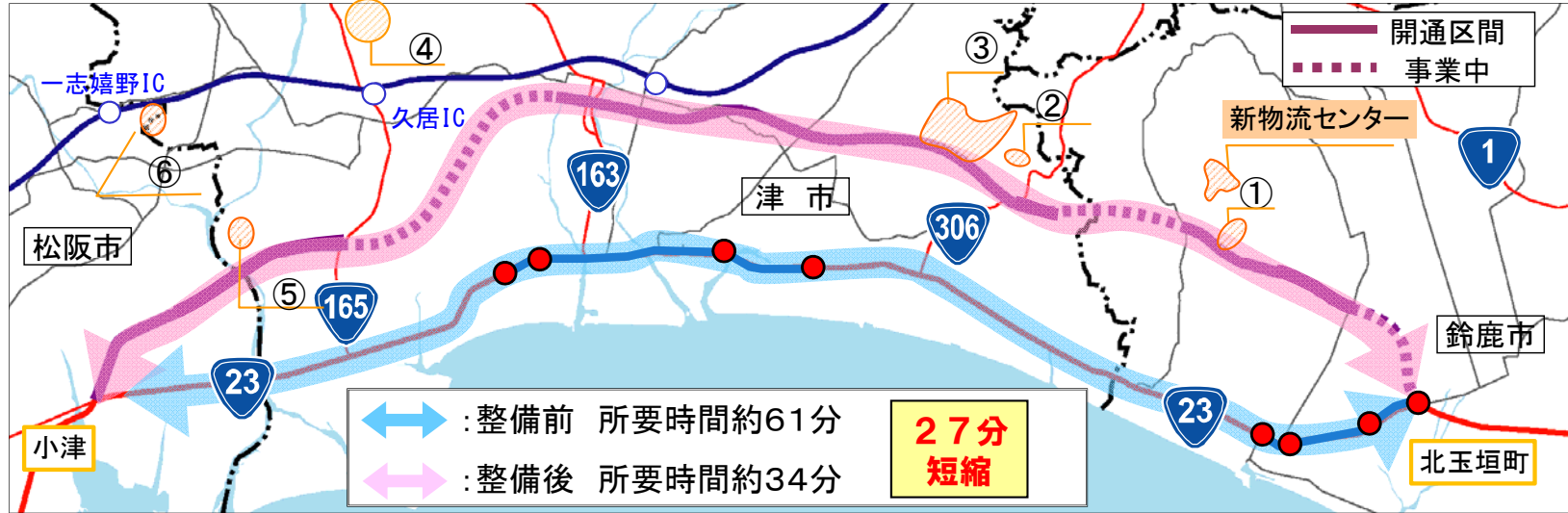


図14 中勢道路沿線の開発状況

工業団地名	分譲状況
① 御園工業団地	完売
② 河芸工業団地	完売
③ 中勢北部サイエンスシティ	分譲中
④ 戸木工業団地	完売
⑤ 桃園工業団地	完売
⑥ 天花寺工業団地	完売

●	: 主要渋滞箇所
■	: 主要渋滞区間
○	: 工業団地等

出典：H22道路交通センサス、法定速度



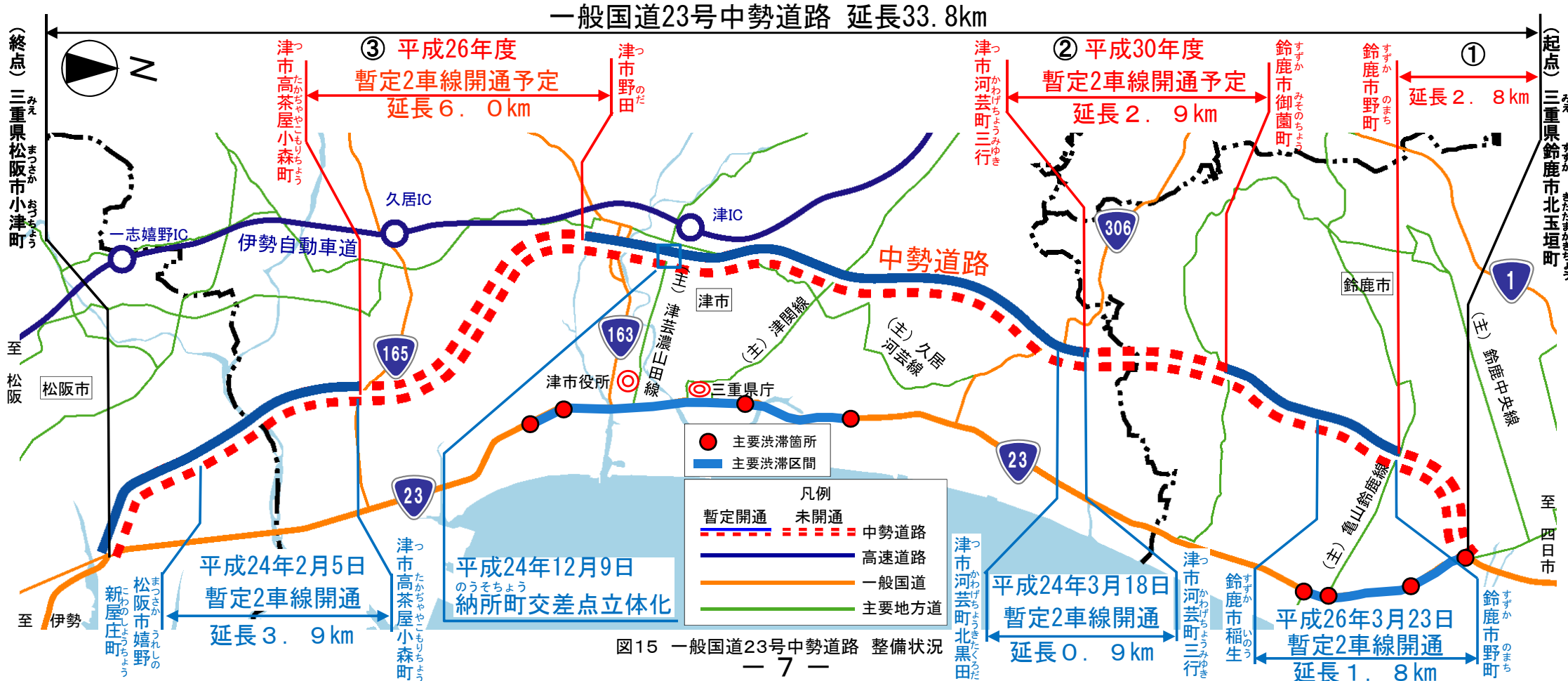
# 3. 事業の進捗及び見込みの視点

## 1) 事業の進捗状況

■事業進捗率は約76%、用地取得率は約97%に至っています。(平成25年度末)  
 (参考)前回評価時：事業進捗率は約62%、用地取得率は約81%(平成22年度末)

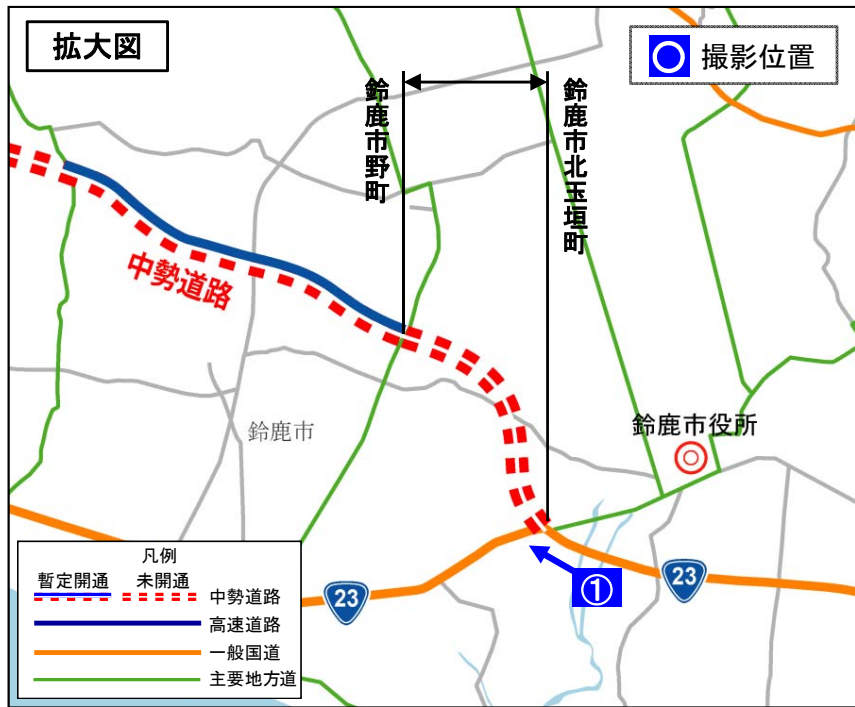
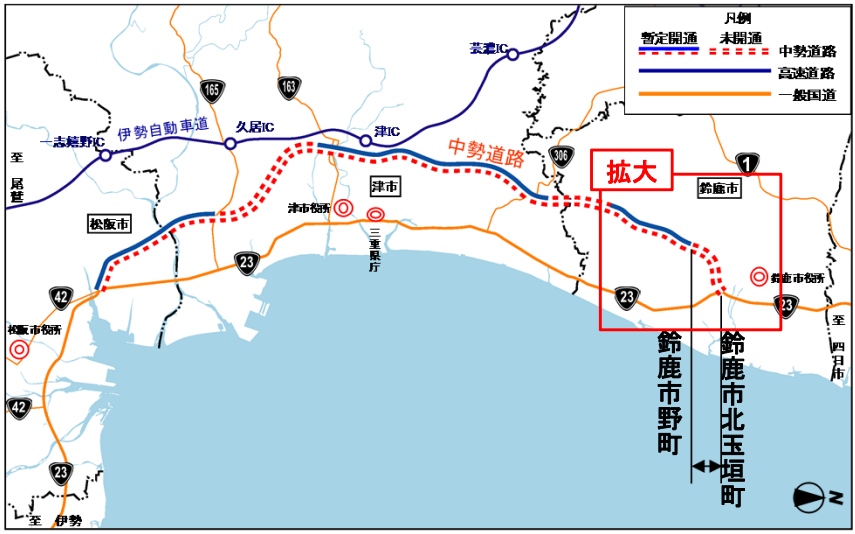
## 2) 事業の進捗の見込みの視点

- 津市野田～津市高茶屋小森町間(延長6.0km)は、平成26年度に暫定2車線開通を予定しています。
- 鈴鹿市御園町～津市河芸町三行間(延長2.9km)は、平成30年度に暫定2車線開通を予定しています。
- 鈴鹿市北玉垣町～鈴鹿市野町間(延長2.8km)は、上記の事業進捗を踏まえつつ、開通に向けて整備を推進していきます。



# 3. 事業の進捗及び見込みの視点

## ① 鈴鹿市北玉垣町～鈴鹿市野町の事業進捗状況



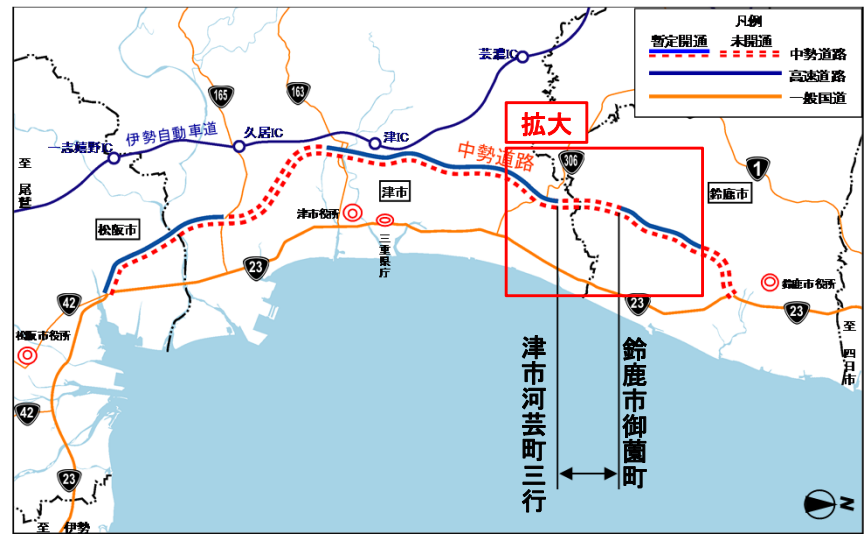
区間	事業進捗状況
鈴鹿市北玉垣町 ～ 鈴鹿市野町	【用地】H19年度より用地買収に着手し、今年度も引続き推進



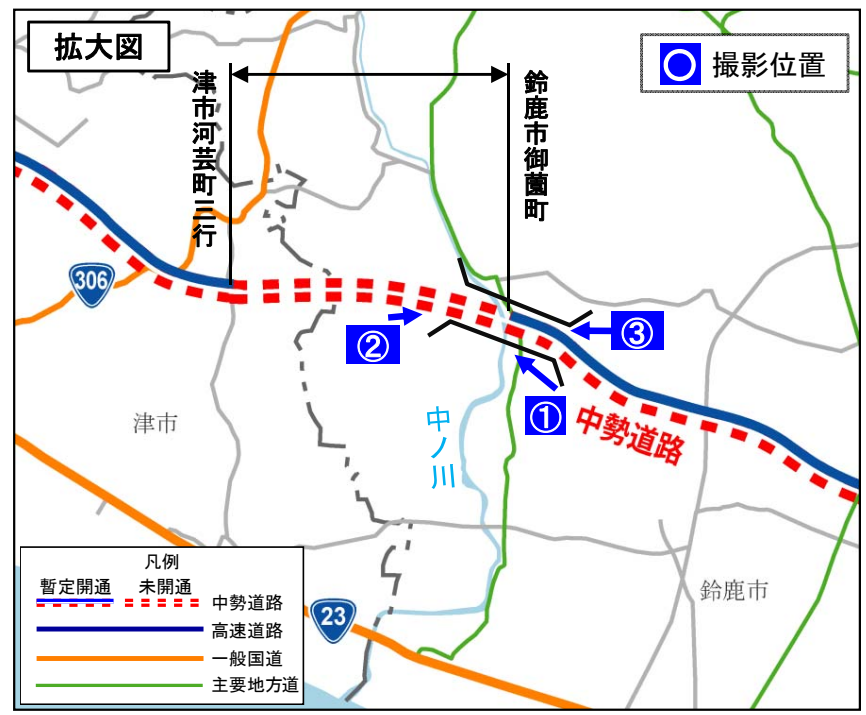
【鈴鹿市地内】平成25年3月撮影  
津方面を望む

# 3. 事業の進捗及び見込みの視点

## ② 鈴鹿市御園町～津市河芸町三行の事業進捗状況



区間	事業進捗状況	備考
鈴鹿市御園町 ～ 津市河芸町三行	<p>【用地】H22年度より用地買収に着手し、今年度も引続き推進</p> <p>【工事】H24年度より工事に着手し、今年度は高架橋下部工事を実施</p>	<p>H30年度暫定2車線 開通予定 延長2.9km</p>



【鈴鹿市地内】平成26年8月撮影  
交差点立体化工事



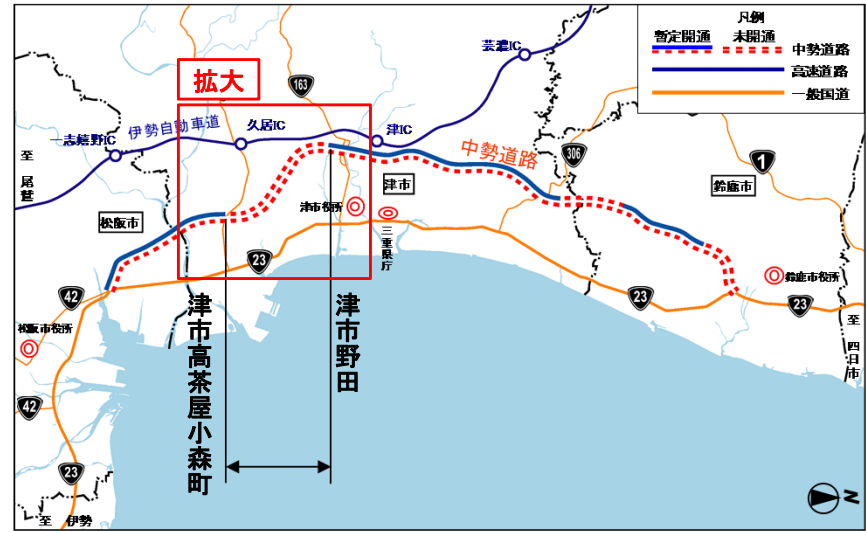
【鈴鹿市地内】平成25年11月撮影  
地盤改良工事



【鈴鹿市地内】平成26年3月撮影  
津方面を望む

# 3. 事業の進捗及び見込みの視点

## ③津市野田～津市高茶屋小森町の事業進捗状況



区間	事業進捗状況	備考
津市野田 ～ 津市高茶屋小森町	【工事】H21年度より工事に着手し、今年度は跨道橋上部工事、全区間の舗装工事等を実施	H26年度暫定2車線 開通予定 延長6.0km



# 4. 費用対効果分析

## 3便益による事業の投資効果

○費用便益比(B/C)について

	(走行時間短縮便益)	(走行経費減少便益)	(交通事故減少便益)				
	5,995億円	+ 346億円	+ 21億円		6,363億円		※1
◇B/C(事業全体) =	2,278億円 + 234億円			=	2,512億円	=	2.5(2.4)
◇B/C(残事業) =	3,966億円 + 222億円 + 43億円			=	4,230億円	=	9.3(7.2) ※1、2
	303億円 (事業費)		153億円 (維持管理費)	=	456億円	=	( )は、前回評価時

### 【前回評価時からの変更点】

1. H26年度事業化済道路網に変更(H23→H26)

2. 費用便益分析の基準年次を変更(H23→H26)

※1平成22年8月に公表した「将来交通需要推計の改善について」にて検討することになっていた推計手法の改善(第二段階)を反映した将来OD表に基づきB/Cを算出。

※2未整備区間において、事業を継続した場合に追加的に必要となる事業費の合計と、追加的に発生する便益を対象として算出。

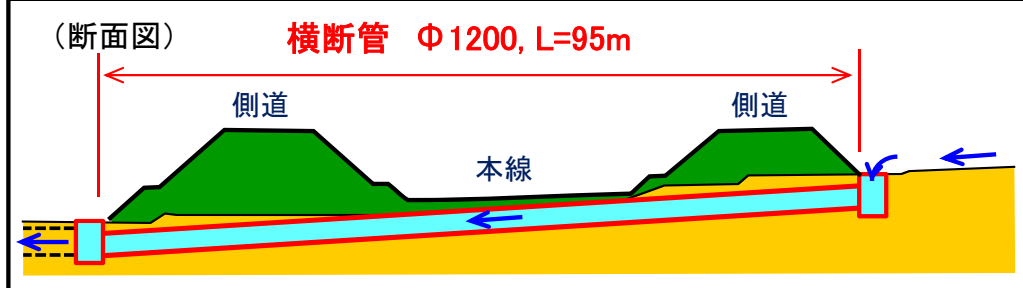
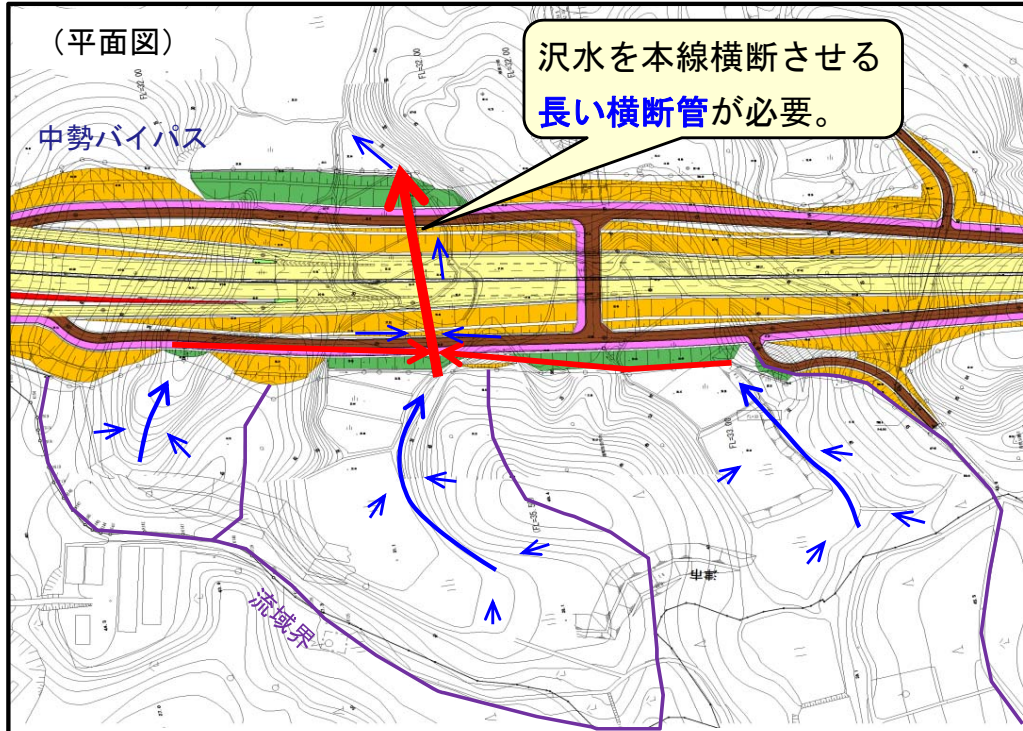
# 5. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

## コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

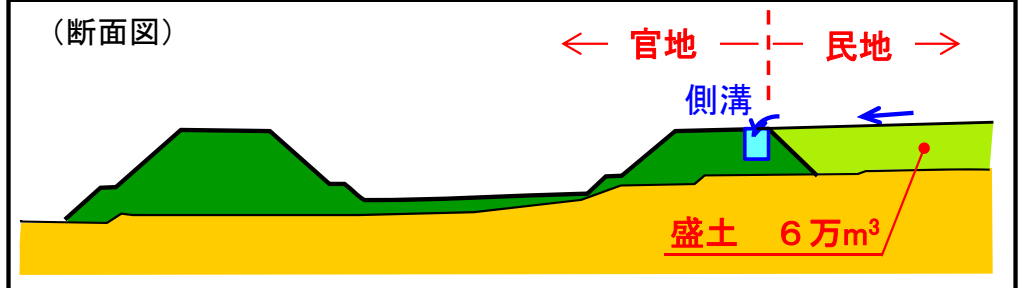
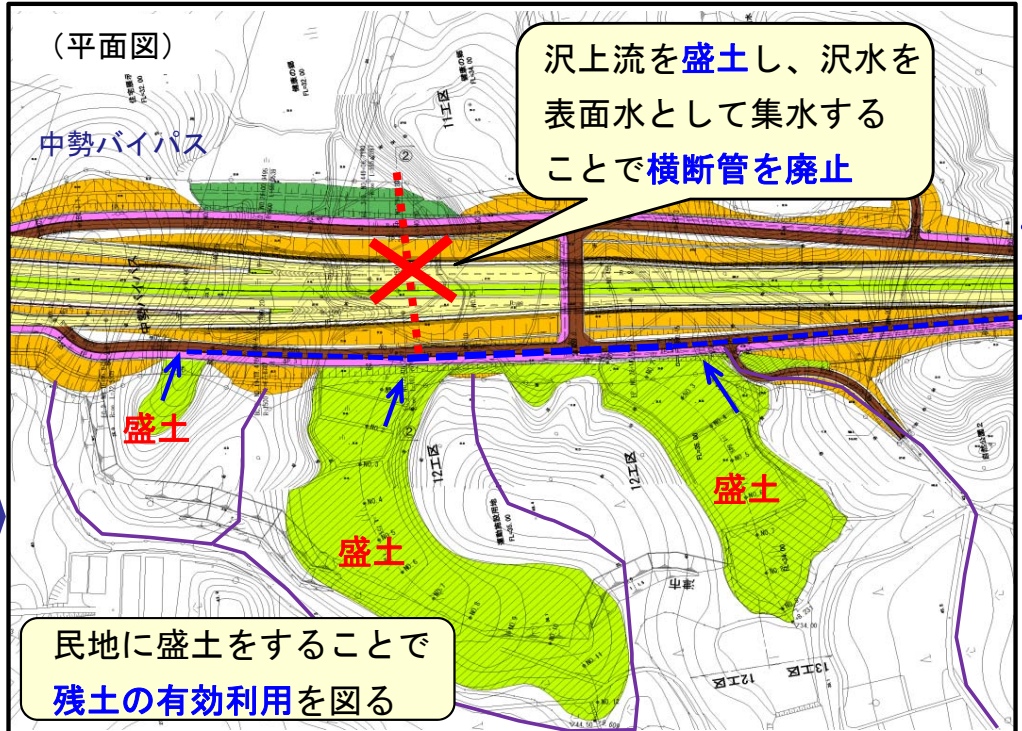
- 中勢道路は、地形、土地利用状況、主要幹線道路との接続などを勘案した路線計画です。また、交通渋滞の緩和、災害時の復旧支援ルートの確保、地域産業の支援など期待される効果が大きい事業で、都市計画決定以降、地域の課題に大きな変化が無いことから、現計画が最も最適であると考えます。
- 民地との調整を行い、残土の有効利用として民地へ盛土をし、排水計画も見直すことにより、約1億円のコスト縮減を図っています。
- 今後も技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していきます。

### ■ 道路構造の見直し

【予備設計時】



【詳細設計時】



盛土部のBOX内水路にて本線横断させる

## 6. 県・政令市への意見聴取結果

### ■三重県の意見

本事業は、国道23号の交通渋滞緩和や災害時の復旧・支援ルート確保、さらには地域開発の支援を図るための重要なバイパス事業です。

今後も引き続き、本県と十分な調整をしていただき、津市野田～津市高茶屋小森町間の平成26年度供用及び鈴鹿市御園町～津市河芸町三行間の平成30年度供用を確実にするとともに、開通の見通しが明らかになっていない区間については、開通の見通しを明らかにした上で、早期全線完成に向けた事業の確実な推進をお願いいたします。また、既供用区間の渋滞対策の推進もお願いいたします。

## 7. 対応方針(原案)

■一般国道23号中勢道路の事業を継続する。